


北海道ポーランド文化協会〈第80回例会〉
朗読会「午後のポエジア」第7回

没後100年記念

詩「ピウスツキ *Bronisław Piotr Piłsudski*」
劇 ~ポーランド・サハリン 愛と死~

ブロニスワフ・ピウスツキ (1866-1918) は、久しくロシア帝国領に編入されていたリトワニアに生まれた民族学者です。1887年、アレクサンドル3世暗殺計画に連座して懲役15年の判決を受け、樺太へ流刑となり、1896年5月14日、アレクサンドル3世の死後におこなわれた大赦により、懲役刑が15年から10年に減刑されました。この頃よりアイヌ民族と接触するようになり資料収集をおこない、流刑された10数年の間に樺太アイヌ、ギリャーク、オロックなどの写真・音声資料を多量に残します。もともと法律学を学ぶ学生だったピウスツキは、何故アイヌ民族や北方小民族の研究に向かったのでしょうか。詩劇を通して、ピウスツキの別の側面を知っていただければと思います。



共催：  ポーランド広報文化センター
後援：札幌市・札幌市教育委員会


2017年
5月27日(土)

(開場 13:30) 開演 14:00

*ケーキ、ドリンク付き/予約不要

入場
無料

ドラマシアターどもIV

江別市2条2丁目7-1 / Tel.011-384-4011
(JR 江別駅を出てすぐ右手、徒歩5分・有)

お問合せ ●Tel.090-2695-3880/Fax 011-812-9872
cocobluemoon@gmail.com(小林)



北海道ポーランド文化協会 第80回例会

午後のポエジア

Part7



2017/5/27(土)

開演 14:00~17:00

(開場 30分前)

ドラマシアターども

(江別市2条2丁目)

共催  ポーランド広報文化センター
INSTYTUT POLSKI TOKIO

後援 札幌市・札幌市教育委員会

午後のポエジア 7 プログラム

第1部(14:00~15:30)

〈詩劇〉ピウスツキ〜ポーランド・サハリン 愛と死〜

プロニスワフ・ピウスツキ没後百年記念

原作 尾形 芳秀、舞台監督 霜田千代麿、演出 斉藤 征義
音響 松山 敏、司会 小林暁子

- ♪ 「シュワ・ジェヴェチカ」(森へ行きましょう)国立民族舞踊団シロンスク(動画)
- ♪ 「ドンブロフスキのマズルカ」(ポーランドは未だ滅びず:国歌)ミハウ・マズル、シルビア・オレーヤージュ、ラドスワフ・ストジャウカ(合唱)、坂田朋優(pf)
- ♪ ショパン 練習曲ハ短調作品 10-12「革命のエチュード」坂田朋優(pf)
- ◆ 「流刑の島サハリン島」園部真幸
- ◆ 「ピウスツキの流刑」小林暁子、♪ 川上恵(ムックリ)
- ◆ 「流刑者のなかから一人の救世主」「チェハンスキから妻への手紙」尾形芳秀
- ◆ 「妻から夫フランツへの手紙」、プーシキン「シベリアへ」熊谷敬子
- ◆ 「サハリンから樺太へ」松山敏
- ◆ 「チャーホフのサハリン行」、チャーホフ「シベリアの旅」より大島龍
- ◆ 「ピウスツキの離島〜愛と別れ」菅原みえ子
- ◆ 「ピウスツキ、パリに死す」霜田千代麿
- ◆ アポリネール「ミラボー橋」園部真幸、菅原みえ子(日本語)、シルビア・オレーヤージュ(ポーランド語)
- ♪ ショパン 練習曲ホ長調作品 10-3「別れの曲」松山敏(as)、坂田朋優(pf)
- ◆ 「ポーランド、独立を果たす」墨象「愛」「ユゼフの使者の来島」霜田千代麿
- ◆ 「盲いたシンキンチョウの絶唱」(自作詩)長屋のり子
- ♪ イケレソツテ(魔神の摺り足)福本昌二、橋本隆行(トンコリ)、結城志穂(ムックリ)

第2部(15:40~17:00)

詩の朗読と交流の会 (お茶、ケーキ、ワイン、スナックつき)

参加者全員でポーランドの詩を朗読します(プリントを用意)。
飛び入り歓迎(楽器を持参してお好きな音楽を演奏してください)



◁ アイヌ民族の伝統的衣装を着たプロニスワフ・ピウスツキ、アントナス・ヴァルナス画、1912、ザコパネ・タトラ博物館所蔵



▷ プロニスワフ・ピウスツキ胸像除幕式、白老町・アイヌ民族博物館、2013.10.19

午後のポエジアは今年で7回目。前史として、江別市の劇場「ドラマシアターども」の公演に加わり数人の留学生や会員がポーランド詩を朗読しました。2011年からは北大クラーク会館で、朗読を通して日本人とポーランド人が家族や友人ぐるみで交流する、素敵なつどいになりました。

北海道ポーランド文化協会は1987年設立、初代会長は今村成和元北大学長。北海道とポーランドのあいだの文化交流の促進を目的とし、文学・歴史・美術・映画・音楽などポーランドの多様な文化を愛する民間団体です。

《第80回例会》朗読とお茶の会「午後のポエジア」7（江別市・ドラマシアターども、2017.5.27）

（第1部）〈詩劇〉ピウスツキ～ポーランド・サハリン 愛と死～ 原作 尾形芳秀, 演出 斉藤征義, 舞台監督 霜田千代麿
（第2部）交流会 （写真 尾形芳秀、安藤厚）



♫ Radosław Strzałka / Sylwia Olejarz / Michał Mazur（合唱） / 坂田朋優(pf)

◆園部真幸 ◆小林暁子 / ♫川上恵（ムックリ） ◆尾形芳秀 ◆熊谷敬子



◆大島龍

◆菅原みえ子

♫松山敏(as) / 坂田朋優(pf)

◆霜田千代麿

（墨象）



△客席

◆長屋のり子 ♫福本昌二 / 橋本隆行（トンコリ） / 結城志穂（ムックリ）

▽交流会

▽出演者挨拶



(video) <https://www.youtube.com/channel/UCMj79F42yAXTgXRyYgXLDiw>

Bronisław Piotr Piłsudski

Performed at “Drama Theatre-Domo”, Ebetsu, Hokkaido, Japan, May 27, 2017,
distributed by Hokkaido-Poland Cultural Association. <http://hokkaido-poland.com/>

uploaded 17/07/2017

PROGRAM

(video, part 1) [32:07]

Szła dziewczeczka - “Śląsk” Song and Dance Ensemble [2:15–]

Mazurek Dąbrowskiego - Radosław Strzałka / Sylwia Olejarz / Michał Mazur (chorus) / Tomohiro Sakata (pf) [4:20–]

F.Chopin, Revolutionary Etude op.10 no.12 - Tomohiro Sakata (pf) [7:45–]

Sakhalin, Island of Exile - Masaki Sonobe [10:35–]

B.Piłsudski’s exile - Akiko Kobayashi / Mukkuri (Ainu plucked idiophone) - Megumi Kawakami [14:15–]

A savior among the convicts / Franc Czechanski’s letter to his wife Ekaterina - Yoshihide Ogata [20:30–]

Ekaterina’s letter to her husband Franc / A.S.Pushkin, To Siberia - Keiko Kumagai [26:20–]

(video, part 2) [27:56]

Russian Sakhalin became Japanese Karafuto - Satoshi Matsuyama [0:01–]

Chekhov’s journey to Sakhalin / A.P.Chekhov, A trip through Siberia - Ryu Oshima [4:55–]

B.Piłsudski left Sakhalin: love and farewell - Mieko Sugawara [13:50–]

B.Piłsudski’s death in Paris - Chiyomaro Shimoda [17:40–]

Guillaume Apollinaire, Le Pont Mirabeau - Masaki Sonobe / Mieko Sugawara / Sylwia Olejarz [19:45–]

F.Chopin, Etude op.10 no.3 “L’Adieu” - Satoshi Matsuyama (as) / Tomohiro Sakata (pf) [24:35–]

(video, part 3) [29:42]

Poland regained independence / calligraphy performance “Ai” (Love) / Marshal Józef Piłsudski sent a messenger to Sakhalin - Chiyomaro Shimoda [0:10–]

A song of B.Piłsudski’s blind wife Shinhinchou - Noriko Nagaya [4:30–]

Performance of Ainu musical instruments: Tonkori (Ainu zither) - Shozi Fukumoto / Takayuki Hashimoto; Mukkuri - Shiho Shozi [17:40–]

Finale [24:25–]

Program in Japanese [28:35–]